

仮置場付近の地下水・浸出水・河川水 測定結果

市では除染に伴う発生土壌等を保管するため、平成25年12月に黒保根町下田沢地内赤面国有林内に仮置場を設置しました。仮置場の異常の有無を確認するため、外観検査及び仮置場の空間放射線量の測定（2週間に1回）、地下水や河川水等の放射能濃度の測定（毎月1回）を実施しています。（令和7年4月～）

測定日		地下水		浸出水 1		浸出水 2		河川水	
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
令和7年	4月15日	不検出	不検出	-	-	-	-	不検出	不検出
	5月16日	不検出	不検出	-	-	-	-	不検出	不検出
令和8年									

※検査の検出限界値は0.6～1.0Bq/kgです。検出限界値未満の値は“不検出”と表記しています。

※ “－”の表記は、十分な水量がなく検査できなかったものです。

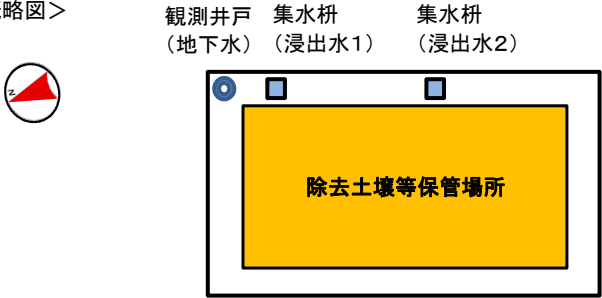
※地下水は、仮置場付近に設けられた観測井戸から採水しています。

※浸出水は、仮置場に設置されている集水枡から採水しています。

※河川水は、仮置場より下流側に位置する赤面川より採水しています。

※冬季期間中は、積雪や路面凍結等の道路状況により、採水を中止することがあります。（“－”と表記）

<概略図>



測定器：ゲルマニウム半導体検出器
測定機関：桐生市・民間検査機関